



2

3

4



1

1. 樋口幸一理事長や須田市長らが記念碑の除幕を行った / 2. 感謝の言葉を述べる樋口幸一理事長 / 3. 上保原太鼓有志連合による勇壮な太鼓で竣工を盛り上げる / 4. 守谷早苗さんは「字名に高子岡が復活するのがうれしい」と述べ高子岡の歴史と文化を語る

「新たなまちづくりにむけて竣工祝う」

住宅地整備を進めてきた伊達市高子駅北地区土地区画整理事業の竣工記念式典が10月10日⑩に行われ、組合員や関係者約100人が出席しました。神事の後に行われた式典で樋口幸一理事長は「地権者や組合員、関係する皆さまに感謝します。この地域がますます発展していくことを願っています」と式辞を述べました。式典後、高子駅前公園で記念碑除幕式が行われ、竣工を祝いました。そのほか、上保原太鼓有志連合の皆さんによる勇壮な太鼓や、福島県文化財保護審議会委員の守谷早苗さんによる記念講演が行われました。今後、新たなまちづくりが進められます。



市長コラム 第47回

「伊達市に

「きぼうの桜」がやってきた」

須田博行

皆さん、宇宙飛行士の若田光一さんをご存知ですか。いま日本人最多5度目の宇宙飛行中で、国際宇宙ステーション「クルドラゴン」に滞在し、さまざまな実験を行っています。

その若田さんが3度目の宇宙飛行のとき、日本の巨大桜の種も一緒に国際宇宙ステーション「きぼう」に滞在し、宇宙を旅しました。8カ月半後、地球に帰還した種から発芽した苗は大きく成長し花を咲かせ、そこから生まれた種は新しい命を芽吹き、東日本大震災で被災した地域の復興のシンボル「きぼうの桜」として植樹されています。その桜が10月1日に伊達市にやってきました。多くの関係者に出迎いたいただき、子どもたちと一緒に保原総合公園三日月広場に植樹しました。

さて、今回寄贈いただいた桜苗の母樹は、世界最古で樹齢2

000年、山梨県北杜市の実相寺境内にある国指定天然記念物「山高神代桜」です。今年8月、私は現地に伺いその「桜」と対面しました。圧倒的な存在感に、心が包まれ、特別な時空に入り込んだ感じがしました。すばらしい桜の子孫をいただくことの喜びと責任の重さを強く感じました。植樹の地として伊達市を選んでいただいた（一財）ワンアース様、ご尽力いただいた皆さま、苗元の山梨県北杜市様に心から感謝申し上げます。

いま伊達市では相馬福島道路が全線開通し、住宅団地や工業団地が造成され、大型商業施設の進出が決定しました。伊達市の復興と未来をこの「きぼうの桜」はずっと見守ってくれることとしましょう。伊達市の希望のシンボルとして、遠く宇宙からも確認できる大樹に成長することを願っています。